

人と人との出会いでまちづくり

「グリーンツーリズム」という言葉を耳にしたことがありますか？一般的な観光旅行と違い、「農山漁村などに長く滞在し、農林漁業体験やその地域の自然や文化に触れ、地元の人々との交流を楽しみながら、様々な体験ができる旅」のことです。

このような、田舎暮らしを体験することによって得る感動は、より深く大きなものであり、人によつてはその場所が第二のふるさとになり得るといふ魅力から、様々な体験旅行を望む旅行者（ツーリスト）が増えています。都市に住む人々にとつては自然と触れ合うことで、心にゆとりを持てるような旅となり、農山漁村にとつては地域の活性化につながる、それがグリーンツーリズムなのです。

最近では、新たなまちづくりの一環として、町ぐるみでグリーンツーリズムに取り組む地域も増えてきています。



◎「体験型教育旅行」と地域の活性化

山口県では、「農山漁村での様々な体験や地域の人々との心温まる交流を通じて、多くのことを学ぼう！」と、子どもたちの受け入れを積極的に行っている地域が、現在6か所あります。それぞれ、その地域ならではの体験プログラムを用意しており、農山漁村のありのままの生活を体験でき、また宿泊（ホームステイ）も可能となっています。また、中学校や高等学校等を対象とした体験型の修学旅行についても積極的に取り組み、子どもたちにとっては力強い成長を支える教育活動となり、一方、農

山漁村にとつては地域の活性化につながるとして、力を入れているようです。

◆周防大島町における体験型教育旅行

上関町に近い周防大島町では2008年に初めて神奈川県の中学3年生約200名の修学旅行生を受け入れました。

体験プログラムとしては、塩づくり・カヌー・芋掘り・竹細工・磯釣り・魚さばき・建て網漁・みかん缶詰づくりなど17種類が用意されたようです。この時は、民泊軒数があまり確保できず、公的宿泊施設を利用したようですが、現在では約40軒の民家に分かれて160名ほどが民泊できる体制ができています。

2009年秋に修学旅行生を受け入れた際には、町内55軒の民家に分かれて宿泊して島の生活を楽しみ、最終日の「離村式」では、生徒たちは「島の一人のように迎えてくれて、ありがと」と涙ぐみ、生徒を受け入れたお年寄りは「孫が帰って来たみたい」に賑やかで、元気をもらった」と喜んでいました。

都会からやって来た修学旅行生の皆さんは、周防大島ならではの海と山の暮らしを体験でき、農漁業のやりがいや楽しさ、そして大変さも教えられると同時に、高齢者を中心とした地元住民との体験交流を通じて、心に残る本物の感動を受け取ったことでしょう。

◎「グリーンツーリズム」のための宿

都会で暮らす人々が、田舎の農林漁家に滞在し、農山漁村の仕事や生活を体験できる宿泊施設のことを「農林漁業体験民宿」（以降、「体験民宿」といいます。

体験民宿では、豊かな自然環境を守りながら、訪れた人々に、様々な農林漁業作業を体験してもらうことにより、物をつくり育てていくことの大切さや収穫の喜びなどを、実際に味わってもらおうことができます。それぞれの地域の体験民宿で用意されている体験メニューは豊富で、訪れる人が希望する体験メニューを選んで宿泊場所を決めていきます。お米作りや野菜作りに参加したり、自分の耕した畑や目の前の海や山で新鮮なものを収穫したりします。また、その新鮮な素材を活用してのソバ打ち体験やジャム作り、パン作りなど特産品・加工品の制作など、多種多様な体験もできるようになっています。

農山漁村は、訪れる人にとって、生活の場であると同時に、楽しい余暇空間ともなるのです。都市と農山漁村の交流の窓口となり、訪れる人の旅をより感動深いものにしてくれる、それが体験民宿なのです。そうした体験を重ねるうちに、その地域が自分にとっての第一のふるさととなり、永住を希望することになる例も少なくありません。

◆農家民宿を経営する喜び

長門市油谷で平成16年から農家民宿「百姓庵」を営んでいる井上さんご夫婦は、「農家民宿を始めて良かったことは何ですか？」という問いに、「都会の人に山口県の魅力、



「百姓庵」の稲刈り体験。
後列右から3番目がご主人の井上義さん

そして自然と共に暮らすことの魅力を伝えることができることです。リピーターが多く、お客さんと家族や親せきのようなお付き合いをさせていただいたり、価値観を共有できる仲間が増えていくのがうれしいことです。」「と答えてくださいました。「百姓庵」は山口県における農家民宿の先駆的存在で、20〜30代の若者にとっても人気があるようです。（「百姓庵」ホームページ <http://www1.bweb-arena.com/hyakusho/>）

◆「農林漁家民宿」開業のすすめ

「農林漁家民宿」については、農林漁業者が副業として行い、5人以下の宿泊客にその地域の特色を活かした体験を提供する小規模な民宿とする場合、一般の旅館や民宿に比べて、様々な規制が緩和されていて、開業しやすくなっています。

上関町の長所は豊かな自然と人情。まさにグリーンツーリズムにはピッタリな環境を兼ね備えています。グリーンツーリズムは上関町の魅力を広くアピールする手段にもなり、活き活きとしたまちづくりにつながる大きな可能性を秘めています。

自分の住む場所に魅力を感じて訪ねてくれる人々との交流から得られるものは、お金には換えられないものであり、自分たちを成長させてくれるだけでなく、地域を動かし、時代を変えてゆく。体験民宿はそんな役割を果たすのです。そんな仕掛け人に、あなたもなってみませんか？

※「農林漁家民宿開業の手引き」はこちらで入手できます。
（やまぐちスロー・ツーリズムweb <http://www.yamaguchi-slow.jp/contents/news/574/>）